

# 2019年全国家計構造調査

二人以上の世帯の  
家計収支、所得、家計資産・負債に関する結果

令和3年6月

長崎県統計課

二人以上の世帯の家計収支に関する結果

● 二人以上世帯の支出

二人以上世帯の2019年10月～11月の1か月平均消費支出は254,738円（全国279,066円）であった。

消費支出の費目別の内訳をみると、「食料」（68,730円）が最も多く、交際費などの「その他の消費支出」（54,070円）、次いで「交通・通信」（36,677円）、「教養娯楽」（20,365円）などの順となっている。（図1、表1）

図1 費目別消費支出の割合（二人以上の世帯）

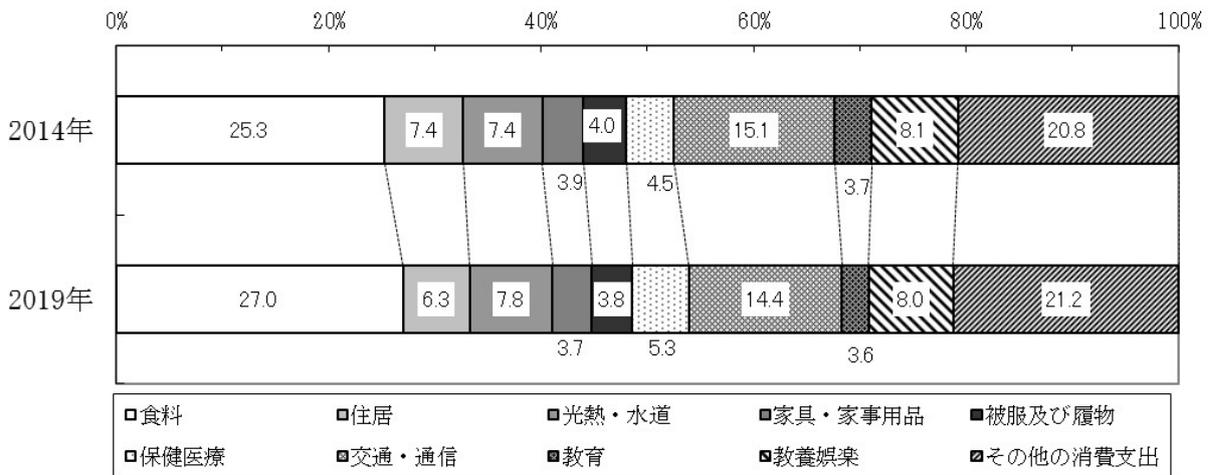


表1 費目別消費支出（二人以上の世帯）

費目	平成26年（2014年）		令和元年（2019年）		名目上昇率	
	実数（円）	構成比（%）	実数（円）	構成比（%）	実数（%）	構成比（ポイント）
世帯主の平均年齢（歳）	58.2	—	59.8	—	(1.6)	—
平均世帯人員（人）	3.02	—	2.98	—	(-0.04)	—
消費支出	262,240	100.0	254,738	100.0	-2.9	—
食料	66,314	25.3	68,730	27.0	3.6	1.7
住居	19,497	7.4	16,064	6.3	-17.6	-1.1
光熱・水道	19,416	7.4	19,885	7.8	2.4	0.4
家具・家事用品	10,285	3.9	9,349	3.7	-9.1	-0.2
被服及び履物	10,501	4.0	9,605	3.8	-8.5	-0.2
保健医療	11,880	4.5	13,528	5.3	13.9	0.8
交通・通信	39,631	15.1	36,677	14.4	-7.5	-0.7
教育	9,057	3.5	6,465	2.5	-28.6	-1.0
教養娯楽	21,212	8.1	20,365	8.0	-4.0	-0.1
その他の消費支出	54,447	20.8	54,070	21.2	-0.7	0.4

（注）2014年との比較は、2014年の結果を2019年調査の集計方法により遡及集計した数値を使用

● 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の収入と支出

ア 実収入

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の 2019 年 10 月～11 月の 1 か月平均実収入は 530,018 円（全国 531,382 円）であり、2014 年と比較すると 22.6%の増加となっている。

1 か月平均可処分所得は 445,732 円（全国 438,768 円）となっている。

イ 消費支出

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の 2019 年 10 月～11 月の 1 か月平均消費支出は 284,657 円（全国 289,503 円）であり、2014 年と比較すると 0.3%の減少となっている。

消費支出の費目別の内訳をみると、「食料」（70,011 円）が最も多く、次いで「その他の消費支出」（64,564 円）、「交通・通信」（42,991 円）、「住居」（22,819 円）などの順となっている。

平均消費性向（可処分所得に占める消費支出の割合）は 63.9%であった。

（図 2、表 2）

図 2 家計収支の構成（二人以上の世帯のうち勤労世帯）

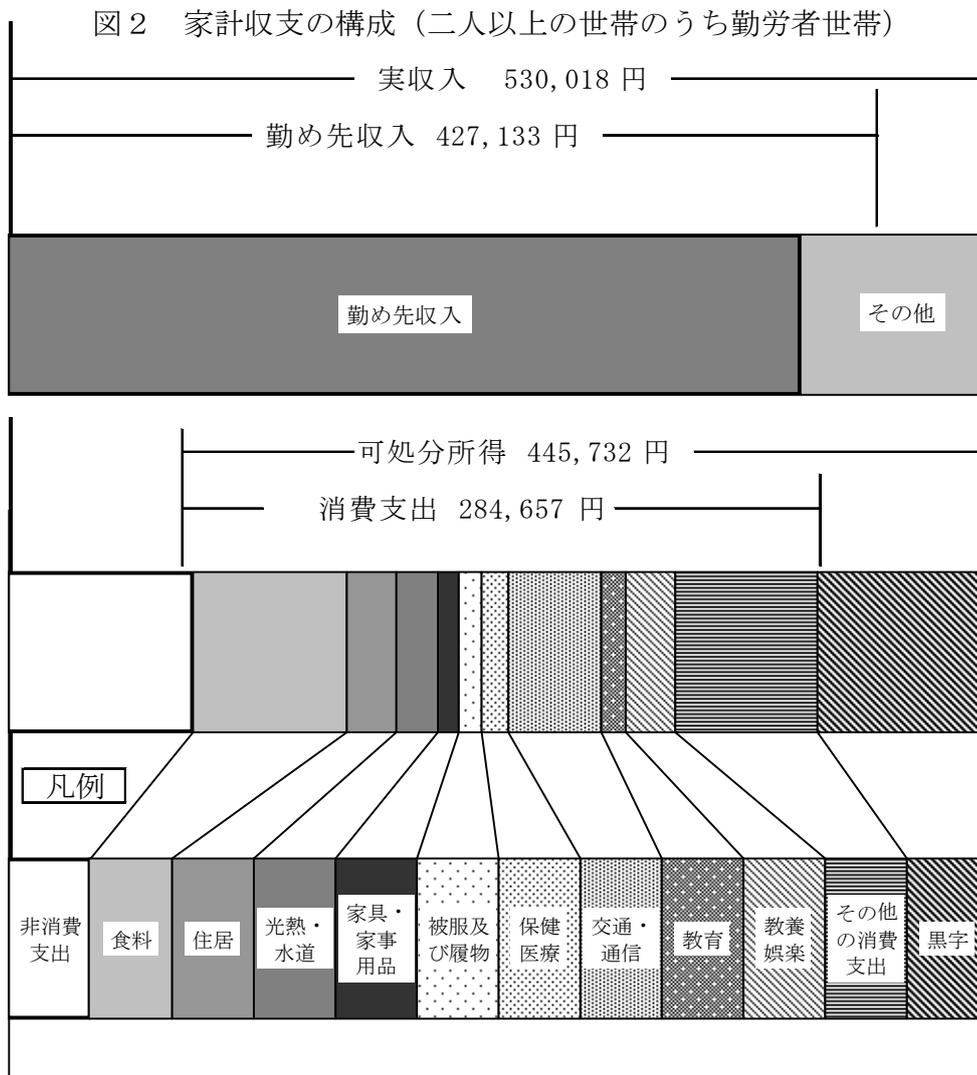


表2 家計収支と内訳（二人以上の世帯のうち勤労世帯）

費 目	平成26年（2014年）		令和元年（2019年）		名目上昇率	
	実数 （円）	構成比 （％）	実数 （円）	構成比 （％）	実数 （％）	構成比 （ポイント）
世帯主の平均年齢（歳）	48.2	—	49.4	—	(1.2)	—
平均世帯人員（人）	3.26	—	3.19	—	(-0.07)	—
実収入（円）	432,319	100.0	530,018	100.0	22.6	0.0
勤め先収入	381,601	88.3	427,133	80.6	11.9	-7.7
勤め先収入以外※	50,718	11.7	102,885	19.4	102.9	7.7
非消費支出	71,864	—	84,286	—	—	—
可処分所得	360,455	—	445,732	—	—	—
消費支出	285,502	100.0	284,657	100.0	-0.3	—
食料	64,995	22.8	70,011	24.6	7.7	1.8
住居	22,446	7.9	22,819	8.0	1.7	0.1
光熱・水道	19,361	6.8	19,237	6.8	-0.6	0.0
家具・家事用品	8,134	2.8	8,900	3.1	9.4	0.3
被服及び履物	11,856	4.2	10,795	3.8	-8.9	-0.4
保健医療	10,456	3.7	11,681	4.1	11.7	0.4
交通・通信	50,075	17.5	42,991	15.1	-14.1	-2.4
教育	14,400	5.0	11,058	3.9	-23.2	-1.1
教養娯楽	20,715	7.3	22,600	7.9	9.1	0.6
その他の消費支出	63,064	22.1	64,564	22.7	2.4	0.6

※ 「事業・内職収入」、「本業以外の勤め先・事業・内職収入」、「他の経常収入」、「特別収入」

○ 二人以上の世帯の所得に関する結果

二人以上世帯の1世帯あたり2019年(※1)の年間収入は、576.6万円(全国677.3万円)であり、2014年(※2)と比較すると7.2%の増加となっている。(全国6.4%の増加)

年間収入の構成比を種類別にみると、「勤め先収入」が64.2%(370.3万円)、さらにその内訳をみると、「世帯主収入」が41.3%(238.4万円)、「世帯主の配偶者収入」が13.9%(80.4万円)、「他の世帯員収入」が8.9%(51.4万円)となっており、つづいて、公的年金・恩給給付19.5%(112.2万円)、事業・内職収入12.0%(69.1万円)となっている。

なお、二人以上世帯のうち勤労世帯の年間収入は、653.8万円(全国738.0万円)で、構成比は「勤め先収入」が89.8%(587.0万円)、内訳は「世帯主収入」が66.3%(433.5万円)、「世帯主の配偶者収入」が18.1%(118.5万円)、「他の世帯員収入」が5.4%(35.0万円)となっており、つづいて、公的年金・恩給給付6.3%(41.3万円)などとなっている。(表3)

※1：2018年11月から2019年10月までの収入

※2：2013年12月から2014年11月までの収入

表3 2019年 所得構成別年間収入 二人以上世帯(長崎県)

項目	総世帯		うち勤労者世帯	
	実数	構成比	実数	構成比
世帯人員 人	2.99	—	3.21	—
世帯主の年齢 歳	59.6	—	49.6	—
年間収入 千円	5,766	100%	6,538	100%
勤め先収入	3,703	64.2%	5,870	89.8%
世帯主収入	2,384	41.3%	4,335	66.3%
世帯主の配偶者の収入	804	13.9%	1,185	18.1%
他の世帯員収入	514	8.9%	350	5.4%
事業・内職収入	691	12.0%	87	1.3%
公的年金・恩給給付	1,122	19.5%	413	6.3%
企業年金・個人年金給付	106	1.8%	30	0.5%
その他	144	2.5%	138	2.1%

○ 二人以上の世帯の貯蓄・負債に関する結果

● 貯蓄の状況

二人以上世帯の2019年10月末日現在の貯蓄現在高は1世帯当たり10,828千円(全国14,497千円)であり、2014年と比較すると6.4%の増加となっている。

二人以上の世帯の貯蓄現在高の構成比を貯蓄の種類別にみると、「定期性預貯金」が37.6%と最も高く、次いで「生命保険など」が28.7%などとなっている。

2014年と比較すると、「通貨性預貯金」の割合が上昇し、「定期性預貯金」及び「有価証券」の割合が低下している。(図3、図4)

● 負債の状況

二人以上世帯の2019年10月末日現在の負債現在高は1世帯当たり3,932千円(全国6,110千円)であり、2014年と比較すると43.8%の増加となっている。

(図3)

図3 1世帯当たり貯蓄・負債現在高、増減率

(※2014年のみ、2019年調査方法による遡及集計の数値。ほかは発表時のまま)

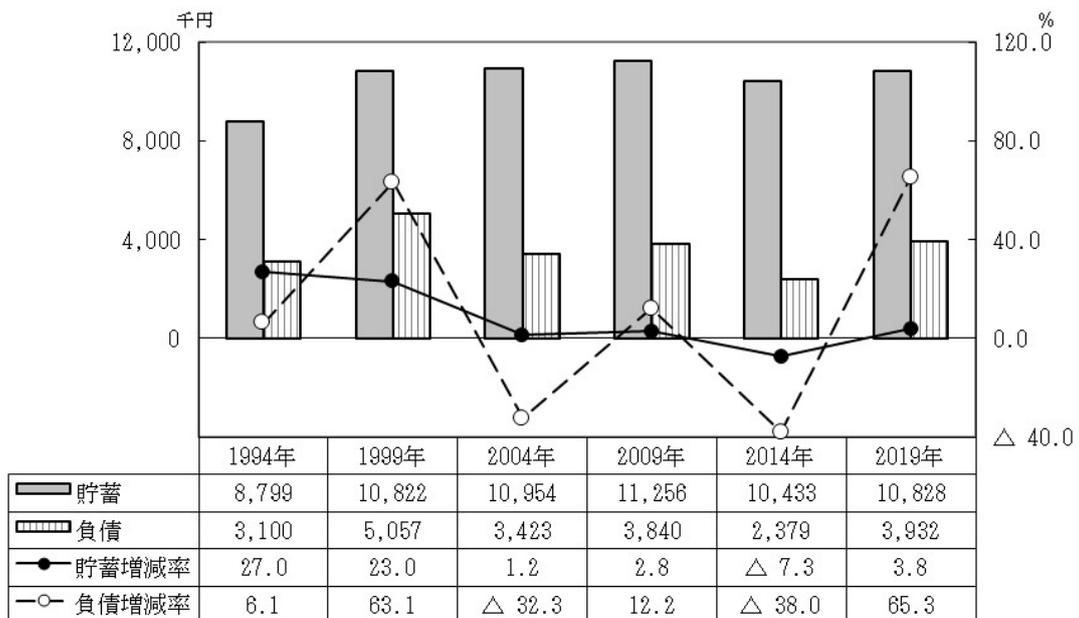
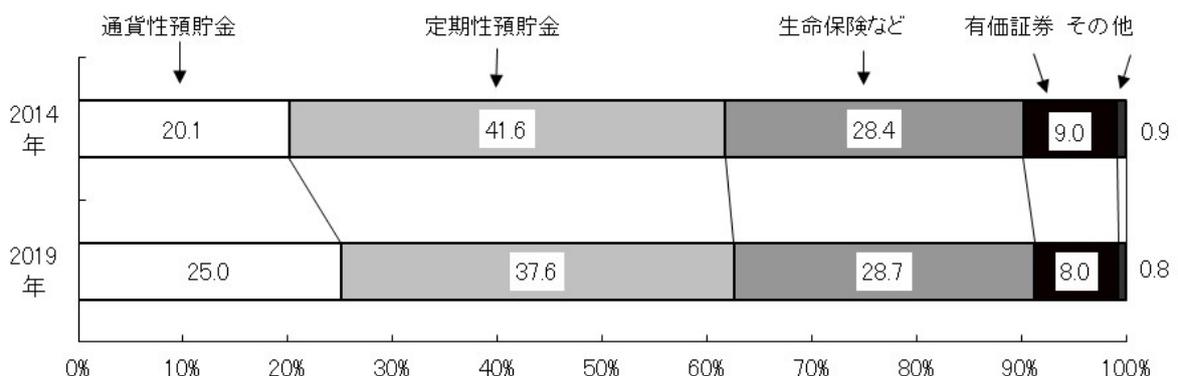


図4 貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比



○ 二人以上の世帯の家計資産に関する結果

● 概況

2019年10月末日現在の二人以上の世帯の家計資産は、1世帯当たり18,583千円となった。これを家計資産の種類別にみると、「宅地資産」が8,460千円と最も多く、次いで「金融資産（貯蓄－負債）」が、6,896千円、「住宅資産」が3,227千円となっている。

2014年と比較すると、家計資産は929千円（4.8%）の減となっている。家計資産の種類別にみると、「住宅資産」（10.5%）は増加となっているが、「金融資産」（14.4%）、「宅地資産」（0.9%）は減少となっている。（図5、表4）

図5 家計資産の種類別1世帯当たり家計資産（二人以上の世帯）

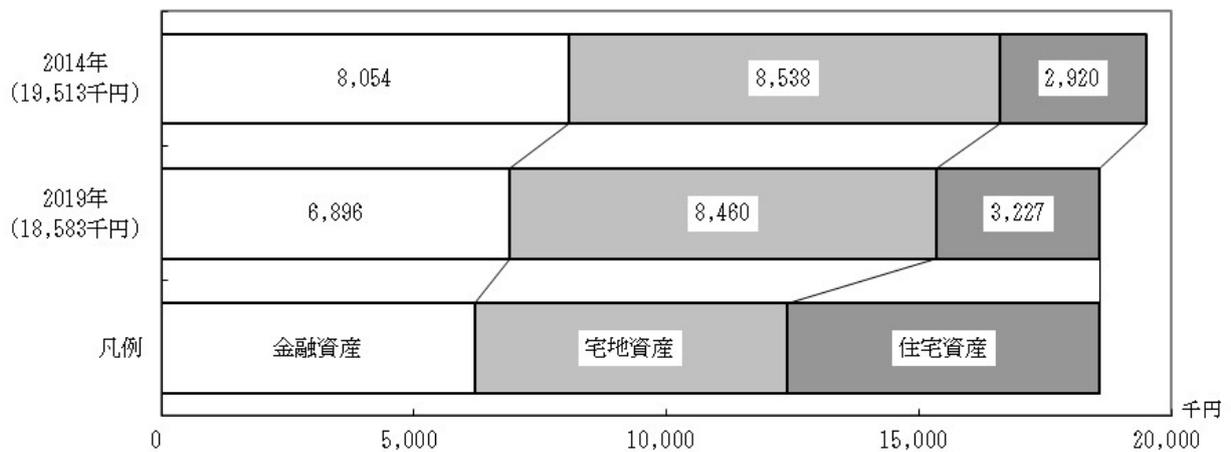


表4 1世帯当たり家計資産の内訳（二人以上の世帯）

項目	2014年		2019年		増減率 (%)	上下幅 (ポイント)
	実数	構成比 (%)	実数	構成比 (%)		
世帯主の平均年齢(歳)	58.1	—	59.8	—	(1.7)	—
平均世帯人員(人)	3.00	—	2.99	—	(-0.01)	—
純資産総額	19,513	100.0	18,583	100.0	-4.8	—
金融資産(貯蓄－負債)	8,054	41.3	6,896	37.1	-14.4	-4.2
貯蓄現在高	10,433	53.5	10,828	58.3	3.8	4.8
負債現在高	-2,379	-12.2	-3,932	-21.2	65.3	-9.0
住宅・宅地資産額	11,458	58.7	11,687	62.9	2.0	4.2
宅地資産	8,538	43.8	8,460	45.5	-0.9	1.8
住宅資産	2,920	15.0	3,227	17.4	10.5	2.4
現住居・現居住地	9,457	48.5	9,784	52.7	3.5	4.2
宅地	6,947	35.6	7,071	38.1	1.8	2.4
住宅	2,510	12.9	2,713	14.6	8.1	1.7
現住居以外・現居住地以外	2,001	10.3	1,903	10.2	-4.9	0.0
宅地	1,591	8.2	1,389	7.5	-12.7	-0.7
住宅	410	2.1	514	2.8	25.4	0.7

単位：千円